

# 江戸川大学 学報

## 江戸川短期大学

## - 目次 -

関係法令等	1
学内規程	2
人事異動	2
主要日程	3
諸報	4
自己点検	6

### 関係法令

#### 【法律】

文字・活字文化振興法(法律第91号)

平成17年7月29日公布、施行

一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律

平成17年11月7日公布、一部を除き平成17年12月1日施行

#### 【政令】

発達障害者支援法施行令(政令第150号)

平成17年4月1日交付、施行

学校教育法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整理に関する政令(政令第295号)

平成17年9月9日交付、平成17年10月1日施行

#### 【省令】

発達障害者支援法施行規則(厚生労働省令第81号)

平成17年4月1日交付、施行

独立行政法人大学入試センターに関する省令の一部を改正する省令(文部科学省令第34号)

平成17年4月28日交付、施行

学校教育法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う文部科学省関係省令の整備に関する省令(同40)

平成17年9月9日交付 平成17年10月1日施行

学校教育法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第42号)

平成17年9月9日公布、一部を除き施行

#### 【告示】

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件の一部を改正する件(文部科学省告示第135号)

平成17年9月9日公布、平成17年12月1日施行

高等学校に文部科学大臣が定める年数以上在学した者に準ずる者を定める件の一部を改正する件(同136)

平成17年9月9日公布、平成17年12月1日施行

専修学校の高等課程のうち、当該課程を修了した者が大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるものに係る基準を定める件(同137)

平成17年9月9日公布、平成17年12月1日施行

専修学校の専門課程のうち、当該課程を修了した者が大学(短期大学を除く。)の専攻科又は大学院への入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められるものに係る基準を定める件(同138)

平成17年9月9日公布、平成17年12月1日施行

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件第二十一号の規定に基づき、専修学校の高等課程の指定等を行う件(同152)

平成17年10月19日公布

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件第二十一号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の名称を平成十五年四月一日をもって変更した旨の届出があった件(同153)

平成17年10月19日公布

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件第二十一号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の名称を平成十七年一月十三日をもって変更した旨の届出があった件(同154)

平成17年10月19日公布

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件第二十一号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の名称を平成十七年四月一日をもって変更した旨の届出があった件(同155)

平成17年10月19日公布

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件第二十一号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を平成十三年三月三十一日をもって廃止した旨

の届出があった件(同156)

平成17年10月19日公布

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件第二十一号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を平成十七年三月三十一日をもって廃止した旨の届出があった件(同157)

平成17年10月19日公布

大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を指定する件第二十一号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の指定を平成十七年四月一日をもって解除した件(同158)

平成17年10月19日公布

学校教育法施行規則第六十九条第三号の専修学校の高等課程等を定める告示(同167)

平成17年12月5日公布施行、平成17年12月1日から適用

学校教育法施行規則第七十条第一項第五号の専修学校の専門課程等を定める告示(同169)

平成17年12月9日公布、施行

外国の大学院又は短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設を指定する件(同175)

平成17年12月5日公布

## 学 内 規 程 等

### 【江戸川大学規程等改正】

駒木キャンパス消防計画(17.4.1 施行)

三校等情報化施策検討部会設置要項(17.11.1 施行)

三校等事務情報化推進検討部会設置要項(同施行)

教育IT化支援推進検討部会設置要項(同施行)

学長選考規程(17.11.15 施行)

給与規程(18.4.1 施行)

教員の初任給・昇任・昇給に伴う俸給決定基準(同施行)

非常勤講師給与規程(同施行)

非常勤講師の委嘱及び開講条件に関する規則(同施行)

総合情報図書館規程(17.12.14 施行)

### 【江戸川大学規程等制定】

ネットワーク利用・運営委員会規程(17.11.1 施行)

### 【江戸川大学学長裁定の制定(17.7.20 施行)】

江戸川短期大学からの本学の第3年次に編入学する学生に係る検定料及び入学金の取扱いについて

江戸川女子高等学校及び江戸川学園取手高等学校の生徒に対する検定料並びに入学金の取扱いについて

一芸に秀でた者の入学に係る検定料、入学金及び授業料の免除について

定年退職予定教員のゼミ担当について

### 【江戸川短期大学規程等改正】

学則(17.11.1 施行)

駒木キャンパス消防計画(17.4.1 施行)

三校等情報化施策検討部会設置要項(17.11.1 施行)

三校等事務情報化推進検討部会設置要項(同施行)

教育IT化支援推進検討部会設置要項(同施行)

給与規程(18.4.1 施行)

教員の初任給・昇任・昇給に伴う俸給決定基準(同施行)

非常勤講師給与規程(同施行)

総合情報図書館規程(17.12.14 施行)

### 【江戸川短期大学規程等制定(17.11.1 施行)】

学位規程

## 人 事

### 【平成17年度採用者】

大学教員(17.10.1 付)

マス・コミュニケーション学科 濱田 逸郎 教授

### 【平成17年度人事異動】

大学教員(17.5.1 付)

委嘱 学生部次長 吉田 正人 助教授

## 新任教職員紹介

濱田 逸郎 はまだいづろう

マス・コミュニケーション学科教授

出身地：神奈川県 最終出身校：慶應義塾大学

前職：株式会社電通 担当科目：マーケティング

論、 , 広告論、 趣味：旅・酒

「ノウハウとは、失敗の経験から生まれるのです。学生時代には失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦してみましよう。そして、失敗がおおごとにならないうちに修正する知恵を身につけましよう。その積み重ねがあなたたちを一回り大きくするはずですよ。」

## 主要日程

### 【大学】

1月 1日(日)	元旦
1月 9日(月)	成人の日
1月10日(火)	授業開始日
1月12日(木)	定期試験時間割発表
1月20日(金)	後期通常授業終了日
1月21日(土)	大学入試センター試験
1月22日(日)	大学入試センター試験
1月23日(月)	後期定期試験(～28)
1月30日(月)	統括講義期間(～2/10)
2月11日(土)	建国記念の日
2月16日(木)	優秀論文発表会(～17)
2月18日(土)	追試許可者発表
2月20日(月)	追試(～22)
3月 7日(火)	卒業生発表、卒業式説明会
3月15日(水)	卒業式
3月16日(木)	卒業記念パーティ
3月21日(火)	春分の日

### 【短大】

1月 1日(日)	元旦
1月 9日(月)	成人の日
1月10日(火)	授業開始日
1月11日(水)	定期試験時間割発表
1月20日(金)	後期通常授業終了日
1月21日(土)	大学入試センター試験
1月22日(日)	大学入試センター試験
1月23日(月)	後期定期試験(～28)
2月10日(金)	追・再試験許可者発表
2月11日(土)	建国記念の日
2月13日(月)	追試(～15)
3月10日(金)	卒業生発表、卒業式説明会
3月19日(日)	卒業式
3月20日(月)	卒業記念パーティ
3月21日(火)	春分の日

## 主要行事

### 【三芽祭】

昨年11月2,3日に行われた、大学・短大・専門学校との三校合同の学園祭「三芽祭」は晴天に恵まれ、たくさんの来場者を迎えました。

昨年はワールドカップの前年ということもあり、地域の子どもたちを招待してのサッカー教室、Eリーグ交流戦と、サッカー関係のイベントが多かったのですが、スポーツビジネス研究所と江戸川大学同窓会が行ったサッカー解説者のセルジオ越後氏講演会が一番の盛り上がりを見せました。



タイトルは「ジーコジャパンはワールドカップをいかに戦うか」。ここでしか聞けないセルジオ越後氏のトークに300人を超える聴衆は熱心に聴き入っていました。



会場の様子 - 立ち見も出るほどの盛況ぶり

学園祭実行委員会の尽力でイベントが充実し、毎年恒例の野外ステージ、お笑いライブのほか、お化け屋敷や教職員有志のフリーマーケットなども好評でした。



野外ステージ

### 【江戸川大学9月卒業式】

平成17年9月28日(水)11時からA棟7階第一会議室で9月卒業式が行われました。卒業生は10名(人間社会1名、マスコミ3名、環境情報4名、経営社会2名)で、それぞれに学位記が授与されました。

### 【江戸川短期大学9月卒業式】

平成17年9月29日(木)14時からA棟7階第一会議室で9月卒業式が行われました。卒業生1名に卒業証書が授与されました。



諸 報

【入試広報センター棟の建設】

昨年8月24日(水)夏の強い日差しの中「入試広報センター棟」建設工事の地鎮祭が行われました。太



地鎮祭 - 玉串奉奠 -

田理事長・学長、北原短大学長、市村佑一学部長をはじめ、学内関係者及び工事関係者約25名が参列し、工事が無事完了することを祈願しました。

工事は、同月下旬から着工しました。

入試広報センター棟は鉄筋コンクリート造の地上3階建(2フロアー)で、延床面積は2,271.44㎡です。

1階にはロビー、多目的イベントコーナー・展示コーナー、面談ブース等を設けます。

また、街路に対し大きく開いた開口部(ガラスカーテンウォール)により開放感溢れる構成となっています。2階には理事長室・学長室、法人本部、大学・短大事務局の一部等が移動することになります。

A(本部)棟の空いたスペースは、教育研究活動に活用される予定です。

今年の3月中旬には竣工予定で、4月にはオープンします。教職員の皆様には年度末に重なりご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。



工事着工の様子

【全国高校放送コンクール結果発表(大学)】

第14回全国高校放送コンクールは、全部門で111校から323作品の応募がありました。テレビ部門17作品、ラジオ部門24作品、アナウンス部門103人、朗読部門は179人と、新設した朗読部門は最も激戦となりました。厳正なる審査の結果、最優秀を勝ち取ったのは、次の高等学校の皆さんです。

テレビ部門 最優秀賞

「君にニーハオ」 広島県立広島国泰寺高等学校

ラジオ部門 最優秀賞

「念ずれば華開く」 兵庫県立小野高等学校

アナウンス部門 最優秀賞

北海道札幌旭丘高等学校 成松紘子

朗読部門 最優秀賞

山梨県立甲府昭和高高等学校 水越春樹



佐々木正實委員長

この最優秀を受賞した高校から代表生徒1名と顧問の先生をお招きし、昨年11月3日、表彰式をA棟A0ルームにて開会しました。

佐々木正實委員長が各部門の審査結果を発表したあと、太田次郎学長から代表生徒一人ひとりに賞状を授与しました。



賞状授与 左は水越春樹さん、右は太田学長

その後、各審査員が講評を述べ、代表生徒の皆さんから一言感想をいただきました。



最優秀受賞校の皆さんと審査員等本学関係教職員



この表彰式の模様は、本学マス・コミュニケーション学科特別ゼミの協力で、参加校や受賞校のみなさん、ご家族の方々に、インターネットを通してパソコンでご覧いただくことができました。

左の写真は、見事な司会で進行した特別ゼミの里村好美さん。

【全国高校生韻文コンテスト結果発表(短大)】

第十五回全国高校生韻文コンテストは、九十一の高等学校から、短歌部門九〇七首、俳句一三三六句、現代詩は二四三編の応募がありました。

テーマの多くは「自然への賛嘆」、「異性への憧れと煩悶」、「将来への希望と不安」、「社会への批判と期待」など様々でした。どの作品も世の中の事象を敏感に捉え、自分の思いを簡潔に表現しており、高校生のナイーブな感性が現われています。受賞作品の他、応募作品はすべて作品集にまとめられていますので、「ご覧下さい。ここでは、個人賞の一位から三位を紹介します。

短歌部門

天位

使い込み文字のかすれたキーボード

今年の夏の私の勲章

三郷工業技術高校 飯谷啓樹

地位

にぎやかな光に浮かぶ隅田川

寂しく香る火薬のけむり

学習院女子高等科 鈴木佐季

人位

この夏は一度きりだねそう言つて

思いをはせる線香花火

横浜雙葉高等学校 菊盛真衣

俳句部門

天位

笑顔佳き米寿祝ひの栗御飯

仙台白百合学園高校 樋渡智美

地位

踏切のはまなす越えて風一つ

学習院女子高等科 岡田理恵子

人位

ぐるぐると渦巻く想い散る紅葉

東洋女子高校 五十嵐里美

現代詩部門

一位

七四 人生

横浜雙葉高等学校 田川晴菜

巻き戻しのできる人生があったら

後悔のない人生が送れる

広島・長崎

六十年前のあの日より一日前に戻りたい

巻き戻しのできる人生があったら

後悔のない人生が送れる

自ら命を絶つた友人

あの悲しみの日より一日前に戻りたい

人生は後悔の連続だ

後悔のない人生なんて無い

でも同じ後悔は繰返してはならない

あの悲しみを繰返してはならない

今日という日は二度と来ない

今日という日は二度と戻れない

一日一日を大切に一人一人を大切に

平和な世界をつくりたい

二位

八〇 背中

横浜隼人高等学校 平石慶太

俺の前にはだかる壁

遠くに見えるが

強く、たくましく

そして巨大な壁

今、その壁に立ち向う俺がいる

小さい頃は恐れをなしていた

時には衝突することもあった

それでも壁はビクともしなかった。

その壁は時に

俺を厳しく叱り

優しくほめ

そして生きる道を示してくれた

そして今、思う。

「あの壁を越えてみたい」

その思いを胸に日々前へ進んでいる

いつかは越えてやる。親父の背中

三位

二四二 憧れ

沖縄県立嘉手納高等学校

手を伸ばせば届くでしょうか

闇夜に浮かぶ

あの銀色に輝く

真ん丸いお月様に

手を伸ばせば届くでしょうか

草原に映える

あの背が高い

真ん丸いひまわりに

私は・・・

いつだって憧れてばかりで

うらやむばかりで

とても小さくなってしまふ

手を伸ばせば届くでしょうか

笑顔が素敵な私の大好きな人に

私の大好きな人のように

私もなれるでしょうか

【オープンキャンパス】

昨年のオープンキャンパスは6月25日、7月23日、8月7日・24日、9月10日、10月1日、12月10日の7回実施され、800人近い高校生が来場しました。

開催時間は9時30分から14時まで、入退場は自由。入試概要の説明や模擬面接のほか、学科別テーマスタディーズなどの展示コーナーでは教員と在学生在が参加者にどんな学問が学べるのか分かりやすく説明し、盛況でした。



学科別テーマスタディーズ 人間心理学科の展示コーナー

## 江戸川大学自己点検・評価委員会

平成16年度(第12回)卒業生に対する  
自己評価サーベイ結果報告書

## 1 平成17年3月卒業生に対するアンケートの目的と手順

自己点検・評価委員会では昨年3月、平成15年度に引き続き卒業生に対する自己評価アンケートを実施した。以下はその結果概要の報告である(平成15年度の結果は江戸川大学・江戸川短期大学報Vol.3 No.4に報告されている)。

今回のアンケート内容は概ね平成15年度の項目を踏襲し一部追加、差し替えをしたものなので、報告は同年との比較のみについて述べることとする。

アンケートの手順は平成17年3月15日の第12回卒業式後のゼミ別集会の際、自記式で実施し結果の殆どを当日中に回収したものである。回収率、記名率は平成15年度を下回ることとなった。

表1. 回収結果

学科	卒業学生数	回収数	回収率
人間社会	116	99	85.3%
マス・コミ	155	128	82.6
環境情報	83	78	94.0
経営社会	88	66	75.0
小計	442	371	84.0
無記名	-	27	-
計	442	398	90.0

平成15年度と同様、無記名回答には信憑性に疑義がありうるため、分析からは除外した。平成16年度の無記名回答は27票、回収票の6.8%と平成15年度よりはやや多くなった。

## 2 結果の概要

## 2.1 学生生活の実態についての結果

平成15年度と同一手順による各設問への同意率を表2に示した。設問の配列順は平成14年度の同意率が高い順である。便宜上、平成15年度と平成16年度で5ポイント以上の差があるものに不等号を付けた。概観すると昨年までの傾向に大きな変化は見られない。



表2 同意率から見た回答結果

項目	ステートメント	同意率		
		H14年度卒	H15年度卒	H16年度卒
-----				
2 j	よい友人ができた	83.7	88.3	80.8
2 d	N Z研修は有意義だった	68.6	64.7	56.4
1 f	バイト先で学んだことが多い	68.4	> 62.5 <	69.8
1 c	この4年間はよく遊んだ	63.0	< 69.1	65.3
1 t	大学4年間で自分の成長を感じた	62.2	< 69.1 >	63.3
2 o *	大学通学のための家族の経済的負担は大きかった	60.8	58.4	58.0
-----				
2 v	この大学に入ってよかった	59.8	< 66.9 >	60.3
2 w *	マナーの悪い学生が多かった	58.7	62.7	58.0
2 k	自己表現の能力が上がった	58.0	62.2	62.4
1 r	大学で学んだことは多かった	56.9	< 63.0	58.7
1 i	シラバスを検討して科目を選んだ	55.6	> 49.3 <	55.7
2 s	調べ物や本の借り出しで図書館を利用した	55.1	52.3	49.0
1 u	大学生活で教養が身についた	54.5	59.0	56.0
2 t	Webサイトをよく利用した	54.3	57.8	49.9
2 u	与えられたメールアドレスをよく利用した	52.5	> 42.3	28.8
2 g	卒論を書くことで成長した	52.2	< 58.5	59.6
2 p *	バイトの収入は遊ぶためのお金になった	51.3	49.7	47.2
-----				
1 o *	専門書はほとんど読まなかった	47.3	46.0	46.9
2 e	パソコンを自由に使いこなせるようになった	44.6	50.3	49.6
1 v	江戸川大学の卒業生としての誇りを持っている	44.5	45.8	45.0
1 h *	単位のとりやすい科目を選んで履修した	43.6	47.6	48.7
1 g *	成績のよしあしは気にしなかった	42.4	> 37.8	33.5
1 d *	この4年間はバイトで忙しかった	42.3	44.2 >	38.8
1 l *	高校までの勉強が足りなかった	41.6	43.9	41.6
-----				
1 p	専門分野についての素養が身についた	38.8	44.4	43.1
1 s	大学生活で自分の独善性に気が付いた	38.3	38.6	44.2
1 a	大学生活の4年間にはよく勉強した	38.1	> 25.2 <	36.4
2 q *	通学時間の長さや混雑が負担だった	35.3	32.9	29.7
2 l	希望した職種に就職できた	34.7	35.4	33.3
1 p	卒業して自信を持って社会に出ている	34.1	< 44.4	43.1
2 m	希望した業界・職種に就職できた	31.4	35.3	34.8
1 h	授業中に私語を注意されたことがある	31.2	< 47.6	48.7
1 w *	授業に出席せずにレポートを提出したり試験をうけた	31.0	27.8	30.7
-----				
1 k *	必修科目の単位取得がなかった	26.8	24.6 >	17.0
1 e *	バイトの都合に合わせて時間割りを組んだ	25.0	< 30.3	30.7
1 b	この4年間は部活、クラブ中心の生活だった	23.3	< 28.9	28.3
2 i	スポーツの技量が上がった	22.0	20.8	21.6
2 n *	就職先にあまり明るい希望を持ってない	20.6	18.4	15.7
-----				

2 f	英語の力がついた	18.8	14.5	20.2
1 j	履修モデルを参考にして科目を選んだ	16.0	< 24.6	24.1
2 r *	健康状態が優れなかった	14.1	14.5	15.2
1 n *	難しい授業が多かった	11.2	12.5	13.7
2 b *	教員とのトラブルが多かった	10.5	7.8	8.9
2 a *	他の学生とのトラブルが多かった	9.6	9.6	9.7
2 c *	職員とのトラブルが多かった	9.4	9.8	8.6
1 m	厳しい先生が多かった	8.4	10.7	10.3
-----				
1 x	同窓生との交流の機会が欲しい	-	49.1	49.8
2 x	学費をかせぐためにバイトが欠かせなかった	-	21.3	22.1

注) \*を付けた項目はこの大学での教育目的にとってマイナスと考えられるものである。無印はプラスと考えられる項目と、両義的な項目を含んでいる。比較の便宜上、前年度に比べて5ポイント以上の差があるものに不等号を付けた。設問1xと2xは平成15年度に新設。

## 2.2 施設等への満足度

今回の試みとして大学施設等への満足度の項目をいくつか追加した。それらの満足度(「満足」+「やや満足」と不満度(「やや不満」+「不満」)の差及び「どちらとも言えない」の比率を示すと下記ののとおりであった。

	満足	不満	差	どちらとも言えない
3 a 授業計画・カリキュラム	29.6	28.6	1.0	25.1
3 b 教室などの教育関連施設	24.2	28.0	-3.8	46.1
3 c 図書館	37.4	36.6	-0.8	42.6
3 d Web環境	34.2	38.0	-3.8	37.8
3 e 体育関連施設	28.7	25.2	3.5	42.0
3 f 食堂	39.9	35.1	4.8	39.4
3 g 教職員などスタッフの質	26.5	34.2	-7.7	25.9
3 h 学生の質	27.8	29.7	-1.9	27.8

これらの設問は平成15年度とはスタイルを替えたため数値の比較はできない。

(了)

江戸川大学自己点検・評価委員会

江戸川大学・江戸川短期大学学報第20号

平成18年1月1日発行

編集・発行 江戸川大学・江戸川短期大学事務局総務課  
〒270-0198 千葉県流山市駒木474 TEL.04-7152-0661(代)

新年を迎え、お正月気分もそこそこ到来年度に向けての準備が始まりました。4月から大学は2学部5学科の新体制。短大は残り1年。旧課程と新課程が同時に走り、いつもの年度末の様相とは違って見えます。開学17年目、大学は新しい挑戦を行います。